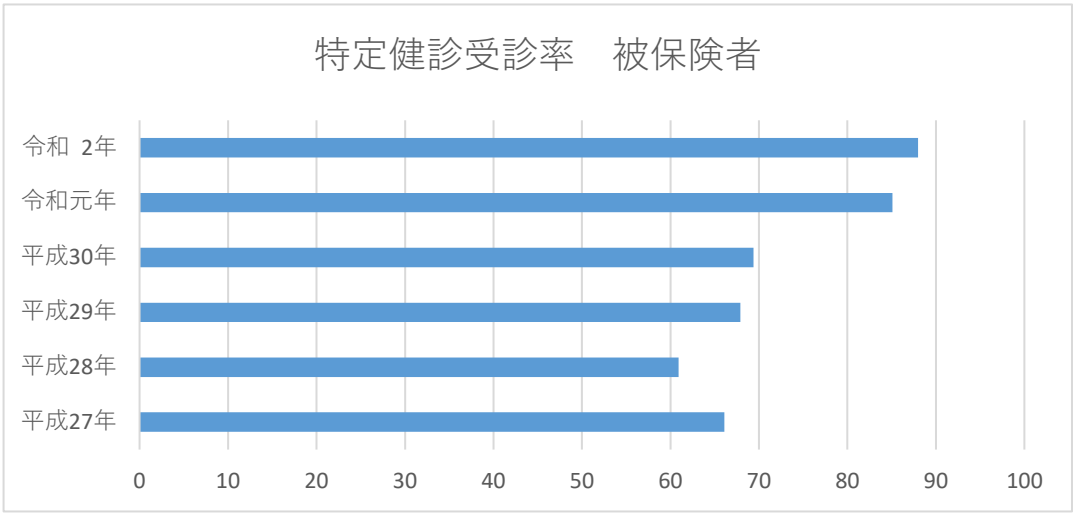
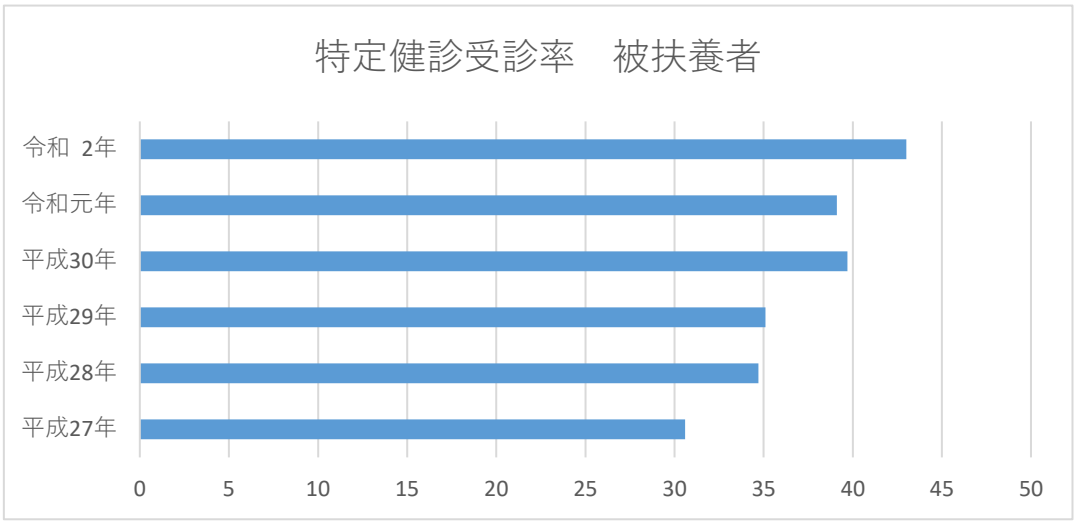
特定健診（４０歳）受診率の推移



平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年（目標値）
66.10%	60.90%	67.90%	69.40%	85.10%	88.00%



平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年（目標値）
30.60%	34.70%	35.10%	39.70%	39.10%	43.00%

データヘルス計画について

わが国では、急速な高齢化や疾病構造の変化に対応した健康施策が求められています。国民の健康維持・増進の重要性が高まる中、平成25年6月に閣議決定された成長戦略「日本再興戦略」において、すべての健康保健組合に対し、データヘルス計画の作成・公表、事業実施、評価などの取組が求められ、平成27年度より3年間の第1期データヘルス計画（平成27年～29年）が始まりました。平成30年度からは、6年間の第2期データヘルス計画（平成30年～令和4年）が始まりました。

データヘルス計画では、特定健診やレセプト（診療報酬明細書）などのデータを分析して、健康医療情報を把握し、加入者の健康増進・疾病化予防と医療費の増大防止を図る

被保険者、被扶養者様、年1度の健診は必ず受診してください。慢心せず、健康なときこそ、健康診断を受診すること。